

2012年2月24日

海外機関投資家誘致を目的とした株式会社フューチャージメントとの
業務提携に関する記事掲載について

当社と株式会社フューチャージメントとの間で海外機関投資家誘致を目的とした業務提携に関する記事が、日刊不動産経済通信並びに日経不動産マーケット情報に掲載されました。

掲載記事にある通り、今後当社では海外機関投資家との広範なネットワークを有するフューチャージメント社との業務提携を通じて海外機関投資家を誘致し、国内不動産を投資対象とした私募ファンドの設立並びにアセットマネジメント業務の受託を推進してまいります。

■掲載日 2012年2月17日 日刊不動産経済通信

「フューチャージ、東建投資顧問と提携ー海外機関投資家の資金受託を推進へ」
掲載記事（下記）

■掲載日 2012年2月20日 日経不動産マーケット情報

「東京建物不動産投資顧問とフューチャージメントが提携、海外マネーの獲得めざす」
掲載記事（[日経不動産マーケット情報のHPリンク](#)）※全文を閲覧するには会員登録が必要です。

<本件に関するお問い合わせ先>

投資運用本部 投資運用第二部 事業開発グループ

田口・能田

TEL: (03) 3548-2428

◎フューチャージ、東建投資顧問と提携
—海外機関投資家の資金受託を推進へ—

アセットマネジメント業務などを手掛けるフューチャージメント(東京・港区、松本鉄郎社長)は、東京建物不動産投資顧問と海外機関投資家からの資金誘致などを目的に業務提携した。フューチャージメントが持つ海外機関投資家のネットワークを活用し、アセットマネジメント(AM)業務の受託や私募ファンドの設立を目指す。

業務提携により、東京建物不動産投資顧問は投資案件のソーシングやファイナンスアレンジメント、SPCの設立とアレンジメント業務、案件成約後のAM業務などを担当し、フューチャージメントは海外機関投資家の探索や情報提供、海外機関投資家へのマーケティング、交渉窓口業務、投資家リレーション業務などを行う。フューチャージメントがパイプを持つ海外機関投資家は、主に香港やシンガポールなどを拠点とし、欧州、北米、豪州、アジアの年金資金などグローバルな資金を運用している。東建投資顧問は、相対的な安定性を背景にグローバルでも魅力が高まっている日本の不動産に投資するファンド組成や海外機関投資家からの受託を増強したい考え。

フューチャージメントの松本社長は、「海外の年金などは国際分散投資の観点から各国ごと、あるいは案件ごとに信頼できる投資パートナーを探している。当社の信用力補完の意味からも、大手不動産会社グループと提携できたことの意味は大きい」と話す。

同社は今回の業務提携による信用補完を活かし、今後は海外の不動産投資にも目を向けていく。12年中に具体化を目指す。